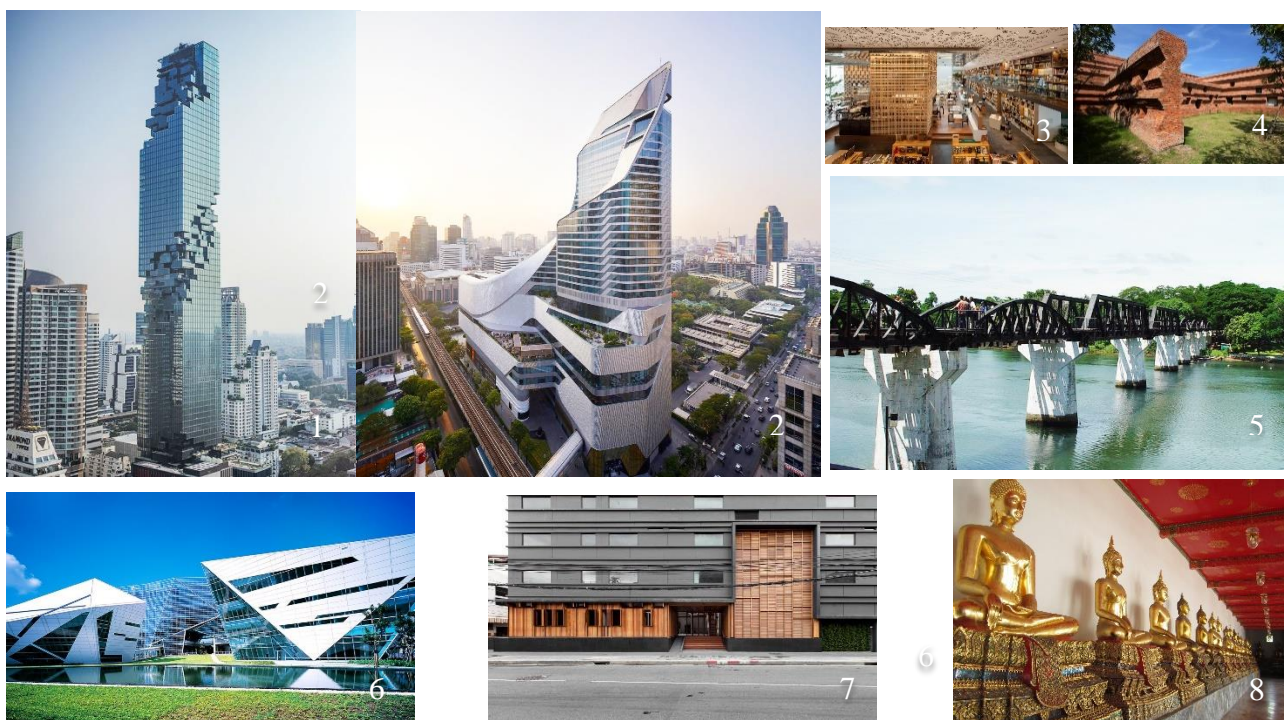


2018 タイ建築ツアー

—バンコク現代& 伝統建築を探る—

厳寒の日本を脱出して、暖かな東南アジアの”建築見学と避寒”を目的にしたツアーをここ数年続けてきた。近年バンコクの現代建築が富に賑やかになってきており、テロ的にも安全なタイに白羽の矢を立てた。個人的には 15 年ほど前に行っているが、建築ツアーは初めてなので調べると、有るわ有るわ！OMA のオーレ・シェーレン、イギリスのアマンダ・レヴェット、日本のクライン・ダイサム、佐藤オオキは言わずもがな、地元建築家もユニークで驚異的な建築をたくさん生み出している。

建築の他にも、物価が安く、食事が美味しく、親日的、と三拍子が揃っているのだから行かざるを得ない！さらに豪華絢爛なワット・ポーやエメラルド寺院などの伝統建築をはじめ、水上マーケット、カオサン通りなどの日常生活も見学。さらに郊外に足を伸ばし、映画で知られた歴史的な「戦場にかける橋」もターゲットです。建築家・学生・老若男女、みんなで一緒にいきましょう！



期間：2018年2月22日(木)～26日(月)5日間
 旅費：198,000円
 (1室2名の1名料金 / 燃油サーチャージ・空港使用税等は別途)
 訪問地:バンコク、カンナチャプリ
 定員：20名
 締切：2017年1月15日(月)
 講師：淵上正幸(建築ジャーナリスト)
 主催・問合せ：KNT-CT グローバルトラベル
 (観光庁長官登録旅行業第2040号)
 担当：森田浩司 (TEL: 03-6891-9600 / morita171218@kntcthd.co.jp)

- 1.マハナコン/Ole Scheeren(OMA) 2.セントラル・エンバシー/Amanda Levete 3.Think Space B2S/Klein Dytham Architects 4.カンタナ・インスティテュート/Boonserm Premthada 5.戦場にかける橋(クワイ川橋) 6.バンコク大学ランドスケープ・コンプレックス/Architects 49 7.ナンダ・ヘリテイジ・ホテル/Chat Architects 8.ワット・ポー(涅槃寺) 9.スターホテル/VaSLab Architecture 10.10 Calタワー/Supermachine Studio



淵上 正幸 MASAYUKI FUCHIGAMI

建築ジャーナリスト&エディター。建築・デザイン関連のコーディネーター、書籍や雑誌の企画・編集・執筆、および建築講演や海外建築視察ツアーの企画・講師などを手掛ける。

主著『ヨーロッパ建築案内』1～3巻(TOTO出版)、『アメリカ建築案内』1～2巻(TOTO出版)、『世界の建築家51人：コンセプトと作品』(ADP出版)など多数。